



# あさひ台

学 校 報  
第 483 号  
R3. 5. 28  
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子  
～ つなぐ ひらく つくる ～



## 飛躍の季節がやってきました!!

校長 小玉 史男

青葉が茂るさわやかな季節がやってきました。教室から見える森山も新緑から少しずつ姿を変え、木々の命が青々と力強く躍動し始めていることを教えてくれています。

森山や雀館公園の木々が、降り注ぐ太陽からたくさんのエネルギーを受け止めているように、子どもたちもそれぞれの学年に応じて順調に枝葉を伸ばし、ひとつひとつの行事を通して経験を重ね、大きく飛躍し始めています。たくさんの行事や学習の中から、いくつかの学習活動を紹介します。

5月6日(木)には、全校オリエンテーリングを行いました。全ての学年が縦割り班に分かれ、それぞれ少しずつ時間をずらしながら、雀館公園、町民センターやプール、グラウンドゴルフ場、アスレチックや野球場スタンドなどに出発しました。「自分の新しい学校は、どんなところにあるんだろう」「まわりにはどんな施設や自然があるのかな」問題に挑戦しながら、縦割り班の仲間と一緒にたっぷり楽しむことができました。雀館公園エリアを巡り、自然を体感した素敵な時間になりました。



5月17日(月)は、こども音楽クラブ「N響が五城目小学校にやってきた」を開催することができました。こども音楽クラブは、子どもたちに本物の音楽を身近に感じてもらう、音楽の楽しさや魅力を知ってもらうために、NHKとNHK交響楽団で実施している出前授業のことです。NHK交響楽団で活躍しているメンバーの皆さんが学校を訪れて、ミニコンサートを開催し、楽器の仕組みやクラシック音楽の魅力などを、楽しく、わかりやすく、伝えてくれました。

子どもたちは「ヴァイオリンの音の大きさや美しさに驚きました」「ピッコロの音色が小鳥の歌声のように聞こえました」「ヴァイオリンは二人で同じ音を出すと聞いていたけど音の重なりがきれいでびっくりしました」「わたしもやってみたい」など、学年に応じた感動を得たようです。

進行してくださった秋田出身のフルート、ピッコロ奏者の菅原潤さんは、「この体育館は秋田杉がふんだんに使われていて音の響きがとても素敵です。古い教会の中で演奏したときのような心地よさを感じることができます。弦楽器は、弦を振動させて木の空間の中で音を響かせますが、この体育館も音を響かせるひとつの大切な楽器になってくれました。素敵な体育館です。大切にしてください」とお話しくださいました。とてもうれしいお話でした。



本物に触れる体験・・・ 子どもたちの心にたくさんの種をまいてくださったようです。

5月24日(月)は、命の学び「防災教育」「応急手当教育」のスタートとなる「1・2年生応急手当の仕方」について学習がありました。この学習は、この後、3～6年生や中学生でも年齢に応じた実技指導を行うことで、1年生から中学校3年生まで、9年間、経験を蓄積していくことにしています。ご協力いただいた五城目消防署や五城目町消防団の皆さん、ありがとうございました。



これらの行事や学習の様子は、五城目小学校「徒然日記」でご覧いただくことができます。

(<http://gojyoume.blog.fc2.com/>)

